

網代地区公民館だより



いさり び 漁火

令和8年6月発行
発行番号 324号
TEL/FAX 0857(72)3564
E-mail: ajiro-k@eagle.ocn.ne.jp

参加者募集

おと

あじろ音カフェ

音楽を聴きながら、お茶を飲んだり、おしゃべりしたりする空間です。何もなくいいです。
音楽を通してちょっと昔を思い出して懐かしくそんな癒しの時間を過ごしませんか？

日時: 6月16日(火)午後1時30分～
場所: 網代コミュニティーセンター
参加費: 無料

今回は
～なつかしの昭和歌謡曲とフォークソング～
お茶とお菓子をご用意しています。気軽にご参加ください♪

網代・大岩地区グラウンドゴルフ大会

日時: 6月12日(金)午前8時30分集合
場所: 網代芝生広場 参加費無料 *しめきりました。

健康マージャン体験会

日時: 6月19日(金)午後1時30分～
場所: 網代コミュニティーセンター

ゆる体操

日時: 6月18日(木)午前10時～
場所: 網代女性会館
*かにかにサロンと共催ですので、サロンにお申込みください。

網代・小田地区グラウンドゴルフ大会

日時: 6月26日(金)午前8時30分集合
場所: 小田地区グラウンド 参加費: 200円
しめきり: 6月19日(金)網代地区公民館まで

網代地区運動会

6月7日(日)午前8時30分～
会場: 網代芝生広場
(雨天の場合 14日)



夏季大祓

6月20日(土)9:00～9:50
漁村センター

ポーセラーツ教室

日時: 6月27日(土)午後1時30分～
場所: 網代コミュニティーセンター
参加費: 1,600円程度
しめきり: 6月20日(土)まで

お花の壁掛けプレートを作ります。

【お詫び】

5月号に掲載した網代自治会と網代あけぼの会老人クラブの新役員紹介に誤りがありましたので訂正させていただきます。大変申し訳ございませんでした。

6班	班長	網代あけぼの会 老人クラブ	区長	網代地区自治会
居組			十二区	大家 満広
富士恵				

楽集ネットワーク

場所: なたばたカフェ

【健康相談】

日時: 6月10日(水)15:00～15:30

内容: 「転倒予防 ～転ばない身体を作ろう～」

担当: 岩美病院 山下理学療法士

【あったかハートサロン】

日時: 6月25日(木) 15:00～

みんなでレクしよう!

初心者さんのヨガ教室

6月23日(火) 午後7時30分～8時30分
参加費：500円 持ち物：ヨガマット

浜公園清掃ボランティア

6月6日(土) 午前7時～7時30分

6月行事予定



- 2日(火) 卓球クラブ
 - 3日(水) なかよしクラブ(玉手箱体操)
 - 6日(土) 浜公園清掃ボランティア7:00
 - 7日(日) 網代地区運動会(芝生広場)
 - 9日(火) 卓球クラブ
 - 11日(木) 書道教室
 - 12日(金) 網代 大岩グラウンドゴルフ交流8:30～
 - 13日(土) やすらぎ会
 - 16日(火) 卓球クラブ
あじろ音カフェ 13:30～
 - 17日(水) なかよしクラブ(玉手箱体操)
 - 18日(木) ゆる体操(女性会館) 10:00～
 - 19日(金) 健康マージャン体験会 13:30～
 - 23日(火) 卓球クラブ
初心者さんのヨガ教室 19:30～
 - 24日(水) なかよしクラブ
 - 25日(木) 書道教室
 - 26日(金) 網代 小田グラウンドゴルフ交流8:30～
 - 27日(土) やすらぎ会
ポーセラーツ教室 13:30～
 - 30日(火) 卓球クラブ
- *10日のなかよしクラブはお休みです。

漁火文芸

網代の四季を詠む

季題：…青葉』

坂登る 青葉潜れば 海展け

村川 すみ子

解説

青葉滴るがんばり坂の中、大きく息を吸えば生き返るようです。少し登れば海が見えます。海も大好きです。

山近く海近いこの地に住めて幸せです。

漁火文芸

四季の俳句

板美館長 選

「まな板に うろこ散り敷く 桜鯛」 正岡子規
桜の咲くころに卵を産むために集まってくる
真鯛のことを桜鯛という。

「めでたさも中位なり おらが春」 小林一茶

一茶は長野県しなの町に生まれ、十五歳で江戸に奉公に出て俳句と出会いました。晩年は故郷に落ち着きましたが、妻や子を次々と亡くしました。それにもめげず、ほのぼのとした俳句を多く詠みました。

館長と

文学散歩

第二回



漱石は五男二女の末っ子で父が五十歳、母が四十一歳の時の子どもです。夏目家は代々江戸の名主で名主は町奉行所に直属して幕府の地方行政組織の末端を担っていました。

名主の家は裕福でしたが明治になり生活は一変します。生後まもなく漱石は里子に出されます。相手は貧しい古道具屋でした。『硝子戸の中で』で次のように書いています。「私はその道具屋のガラクタと一緒に小さいざらの中に入れて毎晩四谷の大通りの夜店にさらされていたのである。」まさに波乱万丈の人生の始まりである。

【次号続く】